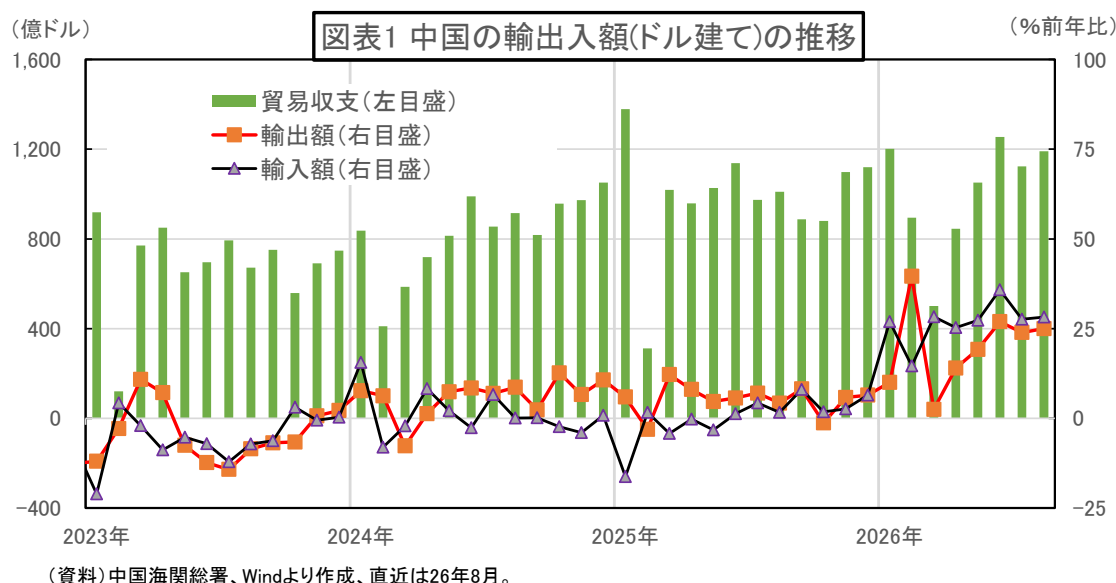


(中国)AI 関連需要と自動車輸出で 8 月の輸出も底堅く推移

中国海関総署が 9 月 8 日に発表した 8 月の貿易統計(速報)によると、8 月の輸出額(ドル建て)は前年比 25.0%と 7 月(同 23.9%)から小幅に加速した(図表 1)。世界的な AI ブームの継続などを背景に、輸出は引き続き高い伸びを維持している。



高い前年比伸びを維持した背景には、2025 年 8 月の輸出が低調だった反動に加え、台風による港湾物流への影響が残ったものの、その程度が 7 月より軽微となったこと、さらに AI ブームを背景とする半導体関連製品や自動車・同部品の輸出急増、対米輸出の回復などが挙げられる。

品目別では、8 月の集成回路(IC)と自動データ処理装置およびその部品の輸出額はそれぞれ前年比 129.8%、76.5%といずれも 7 月からさらに加速しており、両者だけで輸出全体(前掲 25.0%)を 11.3 ポイント押し上げた。また、中国国内市場における競争激化などを背景に、8 月の自動車輸出台数は 3 か月連続で 100 万台を上回った。また、国・地域別にみると、米国向け輸出は加速した一方、EU、日本向けはやや鈍化した。

輸出の先行きについては、AI 関連需要が引き続き下支え要因となる見通しである一方、中東情勢や貿易摩擦をめぐる不確実性の高まりから、輸出の勢いが弱まるリスクもある。このため、9 月の輸出は底堅さを維持するとみられるものの、伸び率は前年比 18%前後へ鈍化する可能性が高い。

なお、8 月の輸入額は前年比 28.2%と、7 月(同 27.6%)から小幅に加速した。これも前年の反動に加え、異常気象の影響の緩和や IC 輸入価格の上昇が背景にある。一方、中東情勢の影響で原油や天然ガスの輸入量は大幅に減少している。